



【別添資料】

GE エナジー

ESBWR（革新型単純化沸騰水型原子炉）について

～簡潔に単純化された設計を採用し、標準性・柔軟性・経済性に優れた原子炉～

GE の最新の沸騰水形原子炉（BWR）の次世代技術は ESBWR です。この単純化された原子炉設計は、強化された安全性、すぐれた経済性、これまで以上のプラントセキュリティ、広範な耐震基準を包絡した耐震設計、しかも運転上の裕度を増すことによりプラントの稼働率を向上させています。

ESBWR は、長い実績のある GE 製 BWR の系譜のなかにあって最新の原子炉です。ESBWR には、静的安全性（パッシブセーフティ）を確保した設計が導入されています。ESBWR は設計が単純なため、従来よりも低コストでかつ短い工期で建設可能です。

GE が設計した III+世代（Gen III+）の原子炉として、ESBWR は現在、米国で設計認可（DC）の手続きを受けています。最初の安全評価報告書（SER）は 2007 年のうちに米国原子力規制委員会（NRC）より提出される見込みで、その後に建設・運転許認可（COL）を申請し、2015 年までに ESBWR の商業運転を開始する予定です。

GE は、世界規模で構築されたサプライチェーンを通じて、ESBWR を採用する原子力発電所の建設を求める電力会社を支援する体制を整えています。

ESBWRクイックファクト

商業運転開始予定：2015 年

標準的な建設期間：36 カ月

環境に対する利点：

1 基の ESBWR で米国の従来型発電を代替することによって削減される温室効果ガス排出量は、自動車 150 万台からの排出量に匹敵。

以上